

周波数の国際協調利用促進事業 令和5年度 継続評価結果

案件名		実施期間	評価会での主なコメント	評価点
地上デジタル放送及び4K・8K技術の国際協調利用促進	地上デジタル放送及び4K・8K技術	H29-R06	<ul style="list-style-type: none"> ・EWBS 導入の有効性評価を実施し、導入体制の提案と課題の提示を行っている。また地デジ移行にかかる技術支援、地デジ高度化方式の海外展開のための調査及び実証実験を予定通り実施している。入札条件による撤退や他メディアの台頭など環境による影響が一部見られるが、当初計画の内容を適切に実施している。 ・受注額、国際標準化以外に、日本の技術による中南米諸国の放送、防災分野への国際貢献、日本のプレゼンス向上も成果とするなら、相当程度の成果が挙げられていると評価できる。なお、EWBSの普及は十分とは言えない。 ・活動成果に対して適切な規模の経費であると思われる。経費の根拠となる活動の状況について、説明の粒度がやや不足している印象である。 ・次世代地デジ採用につなげるための活動や広報が計画されている。緊急地震速報との連携も十分検討されている。アジア地域においても調査・実証が予定されており、最終成果につながるものである。5年度の成果の活用についても何らかの検討がなされることが望ましい。 ・受注額において目標を達成しており、今後においても達成が見込まれる内容となっている。ブラジルにおける評価で良い結果を得ることを期待したい。 ・改善点については特にございませんが、2025年には第9回アフリカ会議が日本で開催されますが、アンゴラは日本にとって資源国にかぎらず多面的な関係強化が期待されますところ、日本のアフリカへのプレゼンス向上の目玉としてのスピーディかつアピーリングな成果獲得を期待しております。 	3.7
空港・交通システムの高度化技術の国際協調利用促進	安全運転支援システム	R05-R07	<ul style="list-style-type: none"> ・現地企業、当局との緊密な連携により有益な実証実験を2つのケースに関して実施しており、適切に進捗しているといえる。ITS世界会議での発表や、東南アジア諸国における調査も適切になされている。 ・実施内容と経費の使途の関係が明確に示されており、妥当であると認められる。 ・デリーだけでなくバンガロール市でも実証実験を実施する予定であり、その効果をよりアピールできる。ただし導入の意思決定者に効果的に訴求活動を行う必要がある。 ・当該国の計画を考慮して、関係者のコメントを踏まえており、適切。 ・インド国内におけるセミナーが年1回であるが、この数年内で勝負するためには普及活動を集中して行うことも重要と考えられる。対象の都市を増やすとともに、聴衆者に一般市民も広く含めることも検討されたい。 ・インドにおける実証実験が着実に実行されており、現地での評価も良好なことが伺える。これを機に、他国への展開も容易となるのではないかとと思われる。今後期待したい。 	4.4